



泉の子

令和4年6月17日

泉小学校

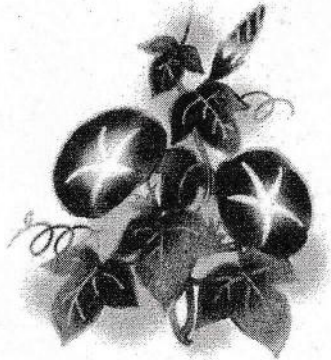
学校便り 第4号



生命あるものとの出会い

梅雨入りをし、うっとうしく感じる季節になりつつありますが、子供たちは、楽しそうに学校生活を送っています。

先日の運動会には、多くの保護者の皆様に御参観いただき、ありがとうございました。子供たちが頑張っている姿を御覧いただけたのではないのでしょうか。いろいろな活動も、通常に戻りつつありますが、まだ油断はできない状況です。学校内でも新しい生活様式を実践しながら、日々の生活を安全に楽しく送ることができるようにしてまいります。



さて、このごろ、学校内を歩いていると、目をキラキラさせて、アサガオに水を掛けたり、ミニトマトやピーマンなどの世話をしたりしている子供たちに出会います。大きくなってきた様子をうれしそうに話してくれます。また、理科の授業の中で、メダカの卵の誕生に神秘的な小さな命の始まりを温かな眼差しで見つめている子もいます。一人一人の子供たちが、身の回りの『生命あるもの』との出会いに心の底から感動し、その命を大切にしていこうという気持ちを持っている様子が見られ、その様子を見てみると、幸せを感じ、自然と笑みがこぼれます。その姿の輝きは、まさに「今を生きている瞬間」そのものです。

6月の朝会では、「命」についての話をしました。私自身が、小学校2年生のとき、自分

の不注意から、あと1時間手術が遅れていたら、この世にいなかったというぐらいの大けがをした経験があります。また、今、世界では、新しい病気などのために、いじめや差別も起こり、そのために不幸な結果につながっている場合もあります。一人一人が、たった一つしかない輝く自分の命を大切にして、今を、全員で、一生懸命に生きていってほしいと強く願っています。御家庭でも「命」について、話題にいただけると幸いです。

